

「UR都市機構フォトコンテスト 2023」結果発表

計 1,003 点の応募作品から受賞作品 24 点を決定！

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、令和5年3月22日から5月31日まで「くらしがある、笑顔がある。」をテーマに、復興部門は東日本大震災からの復興支援の一環として東北の「今」を伝える写真を、団地部門は日本全国のUR賃貸住宅団地に住まう人々の「今」を伝える写真を、皆様から募集し「UR都市機構フォトコンテスト 2023」を開催しました。

審査員及びUR都市機構職員等による審査により、今般、復興、団地各部門大賞1作品のほか、優秀賞3作品と入賞8作品（キッズ・ジュニア賞を含む）を決定しましたので発表します。（詳細は別紙）

郵送、HP、Instagramで作品を募集し、全国から1,003点（復興484点、団地519点）と多数のご応募をいただきました。復興部門では明るさが感じられる写真、団地部門では人々が集まり、営みを感じられる写真が多く寄せられるという応募作品の傾向が見られました。

大賞以下、受賞作品は当機構ホームページで紹介いたします。

[\(https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2023/result/\)](https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2023/result/)

【大賞受賞作品】

復興	団地
	
『暮れないの日常』 （福島県いわき市）	『春の日差し』 大谷田一丁目団地（東京都足立区）

【受賞作品数】

大賞	2 作品（各部門 1 作品）
優秀賞	6 作品（各部門 3 作品）
入賞（キッズ・ジュニア賞を含む）	16 作品（各部門 8 作品）

【作品メッセージと講評】

復興部門 大賞 『暮れないの日常』 (吉田 政孝さん)

メッセージ

「この海岸も被害に遭い復旧工事が終わり綺麗に。散歩・サーファー・釣り等、人々が楽しむ海岸に戻りました。日暮れ前の散歩する姿、震災前の当たり前の風景に嬉しくもあり、感慨深い気持ちになりました。」

講評

「撮影したシーン・構図・色の表現など、写真の構成要素がいずれも高くオリティな素晴らしい写真です。特に夕日を受けながら進む波の表現に非常に高い技術を感じます。被災地でもまたこのような景色が見られるという感慨深さが審査員にも伝わってきました。(みぞみぞ)」

団地部門 大賞 『春の日差し』 (加藤 達真さん)

メッセージ

「いつもみんなが遊ぶ中庭の原っぱ。今日もいい日差しです。大好きなお菓子の生地から服を手作りしておめかしして。結婚式を挙げない私たちにとってこれが結婚写真です。」

講評

「いつの時代であっても、自宅や近隣で記念写真を写すという行いは続いています。若いお二人の一見奇妙なポーズは、これから新しい暮らしが始まっていく喜びから生まれていそうです。「狭いながらも楽しい我が家」はすでに昔の話。毎日をゆったりとクリエイティブに過ごしていこう！という若い世代の率直な気持ちが、明るくコミカルに表現された作品です。(大西みつぐ)」

受賞作品の詳細はUR都市機構ホームページまたは Instagram 公式アカウントからご確認ください。

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2023/result/>

https://www.instagram.com/ur_toshikiko

お問い合わせは下記へお願いします。

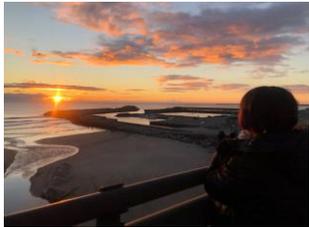
本社 広報室 報道担当 (電話) 045-650-0887

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



「UR都市機構フォトコンテスト2023」概要

名称	UR都市機構フォトコンテスト2023		
主催	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）		
後援	国土交通省、復興庁		
作品イメージ	<p>下記イメージを想定した作品を募集します。</p> <p>（復興）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北の復興を感じる場面 ・東北での生活がうかがえる場面 <p>（団地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々のUR賃貸住宅団地の風景 ・UR賃貸住宅団地に生活する人々の息づかいが感じられる場面 ・UR賃貸住宅団地と周辺環境が形づくる風景 		
応募作品数	1,003点（復興484点 団地519点）（プロの応募は不可）		
審査員（敬称略）	池邊 このみ（ランドスケーププランナー）／大西 みつぐ（写真家） ／西田 司（建築家）／みぞみぞ（写真家・インフルエンサー） ※敬称略		
選定方法	審査員及びUR都市機構職員等による審査により決定		
受賞作品	<p>《大賞》 2点（各部門1点）</p>		
	 <p>『暮れないの日常』（福島県いわき市）</p>	 <p>『春の日差し』（大谷田一丁目団地）</p>	
	<p>《優秀賞》 6点（各部門3点）</p>		
	 <p>『ハレの日』（岩手県一関市）</p>	 <p>『Go Straight』（宮城県石巻市）</p>	 <p>『伝え続けるとみおか』（福島県双葉郡富岡町）</p>
	 <p>『みんなで雨宿り』（神代団地）</p>	 <p>『心地よい寒さと映え装置』（神代団地）</p>	 <p>『今日からよろしく お願いします！』（藤山台団地）</p>
<p>その他、入賞（キッズ・ジュニア賞を含む16点）を選定</p>			
スケジュール	令和5年3月22日～令和5年5月31日	作品募集期間	
	令和5年8月31日	受賞作品発表	
ホームページ	https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2023		